

●著者紹介

テルマ・ハームス (Thelma Harms)

FPG子ども発達研究所カリキュラム開発ディレクター、ノースカロライナ大学チャペルヒル校教育学部名誉研究教授。保育の質の評価に関し世界的に著名である。カリキュラム教材の開発と研修の教材の開発を幅広く行った。アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、アジアで現任者研修とコンサルティングで幅広い実績がある。

リチャード M. クリフォード (Richard M. Clifford)

保育サービスの供給と財源における政府の役割を強調する、子ども・家族政策問題に多くの著書がある。乳幼児期の学びの環境のアセスメントを行い、発達にふさわしい保育実践を明らかにする研究を組織した。元NAEYC会長であり、現在はノースカロライナ大学チャペルヒル校・FPG子ども発達研究所でFirst School Initiative の共同主宰者。

デビィ・クレア (Debby Cryer)

15年以上にわたり保育のカリキュラム教材とアセスメントの手法の開発に携わってきた。アクティブ・ラーニング・シリーズ (Addison-Wesley発行) の主著者。多様な乳幼児保育のアセスメントに関し卓越した経験をもつ。保育のコストと質の関係についての調査を行い、最近では3歳未満児のケアの継続的な効果についての研究を行っている。

●訳者紹介

埋 橋 玲 子 (うずはし れいこ)

同志社女子大学現代社会学部現代こども学科教授。本書原著者らによるECERS, ITERS, FDCERSのトレーニングを受けた。ECERS-R, ITERS-Rについてそれぞれ『保育環境評価スケール①幼児版』『保育環境評価スケール②乳児版』(法律文化社)として訳出。保育現場で、保育者とともにスケールを用いた保育研修を行っている。

〈連絡先〉 ruzuhash@dwc.doshisha.ac.jp